



2025年12月1日発行
(毎月1日・1回発行)
1988年1月27日第3種郵便物認可
定価50円
発行/
公益財団法人横浜YMCA
広報センター
〒231-8458
横浜市中区常盤町1-7
Tel 045-662-3721

横浜青年

YMCA NEWS 12



▲YMCA保育園で子どもたちとともにクリスマスを祝う(2024年12月)

クリスマスメッセージ もっとも 小さな存在へと 目を向けてくださる神

カトリック山手教会 主任司祭 鈴木 真



約2000年前、イエスというお方がこの世にお生まれになったことは、その後世界中のさまざまな文化や地域に結びつき、多くの伝説や物語、そして音楽などを生み出してきました。中でも不思議な形で発展を遂げてきたのが「サンタクロース」という存在ではないでしょうか。実はサンタクロースの原型となった人物は、カトリックの聖人である「聖ニコラオ司教(A・D・271~342)」です。リキユア(現在のトルコ)のミユラの司教だった人で、カトリックでは12月6日が記念日とされています。ニコラオ司教は貧しい子どもや青少年の育成に尽くした人で、その記念日には子どもたちはプレゼントがもらえる、という習慣があったそうです。有名な話は、ある貧しい姉妹を救うためにニコラオがある晩、金貨の詰まった袋をその家の煙突に投げ入れたところ、暖炉で干してあった靴下の中に入った…というもので、サンタクロースが煙突から入るとい話や、靴下にプレゼントを入れるという要素は、ここからのものようです。「サンタクロース」という呼び名はオランダ語の「シンタクラス(聖ニコラオの意味)」がなまったもので、17世紀にアメリカに移住したオランダ人が「聖ニコラオ祭」を広めたことから、日にちが近いこともあってクリスマスと結びつくこととなりました。…と種明かしをしてみましょうとがっかりされる方も多いと思いますが、「サンタクロース」という存在が持つ現代的な意義は、それとはまた別にあると感じます。多くのご家庭で子どもたちに「サンタさんのプレゼント」を用意するのに「苦労なさっているか」とも思いますが、イエスがお生まれになったことを記念する時に、何よりも子どもたちにうれしいことがあるということ、そしてそれを用意する大人たちにとっても、これは神さまがくださった素敵な贈り物と思わずにはいられません。まあそれを言ったら、クリスマスにまつわるすべてのものがそうである、とも言えるのでしょうか。

実は、私は幼児洗礼者で、五歳の時に父親が突然亡くなったことで、母は「サンタクロース」とか言ったりやったりする余裕がなくなったようです。毎年12月24日の「主の降誕」の夜半のミサに出かけるついでに、通っていた教会の近くの玩具屋で好きなものを買ってもらえるのが、わたしにとってのクリスマスプレゼントでした。今思えば、それはわたしにとって毎年訪れる、とても大きな喜びでもありました。

乳飲み子という最も小さく弱い存在としてこの世にいられたイエスの姿には、神さまが真っ先にどのような者たちに目を注がれるのかが示されています。今年も、「サンタクロース」という神さまから人類に与えられた不思議な贈り物を、多くの方々と分かち合いたい、と思います。

「今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。あなたがたは、布にくるまって飼葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけてあろう。これがあなたがたへのしるしである。」

(ルカによる福音書2章11節~12節)

9月9日の朝刊を開くと、成田真由美さんの逝去(同月5日)が目に入りました。パラリンピック6大会に出場し、金メダル15個を含む20個のメダルを獲得された成田さん、1998年に川崎に開校したYMCA福祉専門学校学生のための講演会に快く応じてくださいました▼成田さんは中学生のとき病気で突然下半身まひとなり、その後24歳の時に交通事故で左手のまひと体温調節機能の障がいが残りました。ご自身の体験をもとに語られる話は、障がいのある人や社会への無理解・無関心、差別の厳しさが伝わりました▼成田さんがプールで泳ぎたいと申し出たいくつもの施設に断られた実体験には驚かされました。そのような中で私がうれしく、誇らしく思ったのは、川崎YMCAが泳ぐ機会を提供したことでした▼初めてプールに入ったとき、水が私を引き寄せて、浮かしてくれたと語った彼女の言葉を聞き、私も感動し、うれしく思いました。あれから30年近くが経ちます▼その後の息の長い活躍は、ご自身の猛烈な努力の賜物。しかし、「水の女王」と言われた彼女の出发点に横浜YMCAが関わったことへの私の感激は、今も変わりません▼実は成田さんと私の息子は同じ中学校の同年代であり、駅前などで会うと気さくに声をかけてくださいました。ここ数年はお会いできず、「よくがんばりましたね」と労いの言葉を伝えられませんでした。(進)

ホドス

YMCA NETWORK NEWS

横浜 全国のリーダーがともに学びと交流

1年に1回、全国YMCAのリーダー(指導者)が集まり、学びと交流を行う「第56回全国YMCAリーダー研修会」(主催 全国YMCAウエルネス担当者会)は、10月11日から13日にYMCA阿南国際海洋センター(徳島県)にて開催され、90人(うち横浜YMCA12人)が参加した。



研修は、YMCAリーダー経験者である美鳥佳介氏、リンホルディング株式会社から自身のWeeBingに、オンラインで、(非認知能力)について学びを深めた。続いて菅原萌子氏(特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン)からは子どもたちのWell-beingをテーマに、貧困や困難を抱える子どもたちの現状や子どもの権利条約などを通してWell-beingについて考えた。グループワークを行い、リーダーそれぞれが自分たちの活動について学びを深めた。



第28回インターナショナル・チャリティーラン 障がいのある青少年を皆で応援しています

障がいのある子どもたちを地域の企業や学校、団体をはじめ多くの人と協力して支援していこうと、「第28回横浜YMCAインターナショナル・チャリティーラン」(主催 横浜YMCA、後援 神奈川県、横浜市にぎわいスポーツ文化局ほか)は、10月1日から15日に累計歩数にて行うオンライン大会、10月18日にリアル大会をみなとみらい臨港パーク特設コースにて開催しました。大会では、企業やボランティアグループ、専門学校生・留学生、保育園や学童クラブ・各YMCAの子どもたち、障がい児・者のランナーを含む84チーム、437人(個人部門17人含む)が参加し、笑顔あふれる大会となりました。

ご支援・ご協力ありがとうございました



▲A一般コーススタート ▲Bスペシャルランスタート ▲C富田宇宙全国大会委員長もともに走った ▲Dバラスポーツの体験を通して障がいの理解を深めた ▲E支援金は兵藤芳朗実行委員長から工藤誠一横浜YMCA理事長へ渡された ▲F地域と協働して走った保育園のファミリー ▲G一緒に走ったバラスポーツアスリートの皆さん ▲H「三菱商事DREAM AS ONE.賞」を受賞した藤沢YMCA ▲I支援・運営協力いただいたワイズメンズクラブの皆さん

「共生社会の実現に向け、多様性を認め合うことの大切さの理解を深める機会としていきたいと思います」とあいさつがあった。続いて佐竹博横浜YMCA総主事は大会をサポートしてくださった企業や団体、参加者へ感謝の言葉を述べた。選手宣誓は、幼保連携型認定こども園YMCA東とつか保育園の子どもたちが笑顔で行った。1日から15日に行われたオンライン大会には18チームと17人の個人参加があり、優勝チームは、のんびりいのりん(舞岡地区センター)・170万5152歩、個人優勝は、まりこさん(63万7307歩)となった。リアル大会は、10月15日にみなとみらい臨港パーク特設コースにて行われ、一般(800Mコース)16チ

ム、スペシャルラン(200Mコース)11チーム、幼児(200Mコース)24チーム、小学生(500Mコース)15チームにより行われた。車いすラグビー、アンパティサッカーの選手たちがスぺシャルランに、昨年に引き続き、全国YMCAインターナショナル・チャリティーラン大会委員長・パリ2024パラリンピック競技大会競泳メダリスト富田宇宙選手がスペシャルラン・一般コースに参加し、大会を盛り上げた。各コースの優勝は、一般・YMCAスポーツ専門学校(湘南とつか)10分33秒59、小学生コース・金沢八景①(金沢八景学童)7分26秒68、幼児コース・マナリレー(マナ保育園)2分43秒29となった。

閉会式では、富田宇宙全国YMCAインターナショナル大会委員長が1位から3位の個人とチームに表彰状を手渡し、「スポーツの価値は元氣、仲間、感動、成長」の4つを示し、スポーツに取り組む素晴らしさを自身の経験とともに述べた。続いて兵藤芳朗実行委員長が全国大会のスポンサー三菱商事DREAM AS ONE賞を手渡した。最後に、工藤誠一横浜YMCA理事長が多くの支援に感謝の言葉を述べた。閉会式後には、お楽しみ抽選会が行われ、協賛企業からの協力により宿泊券や食事券、化粧品やおもちゃなどが当たりにぎわった。会場ではスポーツ用車いすやアンパティサッカーの体験が行われ障がいの理解を深める機会となった。



Topics

140years of HISTORY 県央の拠点 厚木YMCA開設1985年 vol.21

横浜YMCAは創立100周年事業として、1985年2月に厚木YMCA青少年センター(厚木YMCA)を開設しました。県央地域における生涯学習・福祉活動の拠点として、幼児から成人までを対象にウエルネスプログラムを開講しました。

同年4月に開設されたYMCA健康福祉専門学校は、神奈川県で初となる国家任用資格「社会福祉主事」の養成校に指定され、社会福祉の充実が期待される時代に大きな意味を持ちました。1989年4月には、「介護福祉科」が開設され、国家任用資格「介護福祉士」を養成する職業教育を開始し、地域の福祉・介護分野の人材育成に貢献してきました。同年に、働く女性のためのチャイルドケアセンター「ホサナ」も開設しました。2003年には、横浜YMCAの認可保育園として4番目となる「YMCAあつぎ保育園ホサナ」が、地域の働く家庭の子育て支援拠点として活動を展開しました。また、「あゆの学校」(学童クラブ)は、子どもたちが放課後を安全に過ごし成長する場として展開しました。厚木YMCA・YMCA健康福祉専門学校は県央地域における福祉・教育の拠点としての役割を担い続けています。



▲奥行のある建物として完成した厚木YMCA青少年センター(1985年2月)

ポジティブネットをひろげよう ~今月のよくなる一歩~

小さなアクションで 世界を変えよう (Responsibility 責任感)

♪子育てランド♪ クリスマスを待ち望む

12月はクリスマスを迎えます。街中もイルミネーションできれいに輝いています。

クリスマスツリーを出して、飾りつけをするご家庭も多いのではないのでしょうか。そこで、ツリーに飾るオーナメントを子どもたちと一緒に作ってみませんか。

オーナメントにもそれぞれ意味があります。星はキリストの誕生を伝えたベツレヘムの星を意味し、キャンディケーンは羊飼いの杖を表しています。また、クリスマスカラーは赤や白、緑が多いですが、これにも意味があります。例えば

緑は冬でも枯れないもみの木などの常緑樹を表し、永遠のいのちや希望を意味しています。

このように普段何気なく見ているもの、飾っているものにもそれぞれ意味があるのです。この機会に子どもたちと一緒に意味を語り合いながら、世界で一つだけのオリジナルオーナメント、オリジナルクリスマスツリーを作って、クリスマスを楽しみに、心待ちにしましょう。

(YMCAたかつ保育園 主任 杉崎賢輔)

横浜 誰もが楽しめる You&Iコンサート

障がいのある人とともに音楽を楽しみ理解を深めよう2011年から横浜つぎワイズメン&ウィメンスクラブの創立5周年を記念してはじまった「You&Iコンサート」(同運営委員会主催)は13回目を迎え、11月1日にボッシュホール(都筑区民文化センター)で開催された。横浜室内合奏団(佐藤大祐代表)の演奏と歌劇団による「はだかの王様」などを290人の参加者が楽しんだ。



当日は横浜つぎワイズメン&ウィメンスクラブをはじめ、地域の障がい者支援団体、横浜YMCAなどが運営した。運営費の一部は横浜YMCAチャリティーラン支援金がいりらされた。

各地域の教会や諸団体とともに クリスマスを喜び祝い、平和を共に祈る 鎌倉・横須賀・藤沢・戸塚区・泉区にて 地域の人とともに祝う時を過ごす



県内のYMCAでは、イエス・キリストの降誕を地域の人も一緒に祝おうと毎年市民クリスマスを各地域のキリスト教会などと協働し開催している。今年も鎌倉、横須賀、藤沢、横浜市戸塚区・泉区にて行われる。



▲クリスマス地域の人とともに祝った(2024年12月事務局 横須賀YMCA)

「第35回横須賀ファミリークリスマス(同実行委員会主催・事務局横須賀YMCA)」は、「この日光が人びとに」をテーマに午後1時から横須賀学院大チャペルにて開催される。「第53回藤沢市民クリスマス(藤沢市民クリスチアン教会主催・事務局藤沢YMCA)」は、午後1時30分からカトリック藤沢教会にて「平和を愛をすべての人へ」のテーマで行われる。

横濱市戸塚区内のキリスト教会・団体による「つか合同クリスマス会」(同実行委員会主催・事務局湘南とつかYMCA)は、12月6日(土)午後2時から湘南とつかYMCAにて開催される。また、「泉区民クリスマス」(同実行委員会主催・事務局YMCAいずみ保育園)は、12月15日(月)から25日(木)にYouTube配信にて行われる。各会場ともなたでも参加できる。このほか、

横浜YMCAの保育園や専門学校、アフタースクールなど

でもクリスマスと共に祝う時を過ごす。

開園20周年を卒園児や地域の人と祝った 幼保連携型認定こども園YMCAいずみ保育園

横浜YMCAでは県内に14園の保育園を運営しているが、幼保連携型認定こども園YMCAいずみ保育園が開園20周年を迎え、11月1日に、記念礼拝・いずみフェスティバルを行った。同保育園は、2005年に、横浜市泉区上飯田町周辺団地のリニューアル計画に伴い、老朽化により廃園となる市立上飯田保育園に代わり、民間による保育所を整備する事業計画を、多文化共生を使命とし、当時保育園の開設を県内にて進めていた横浜YMCAが受託した。

開設20周年記念礼拝には、歴代園長をはじめ関係者など53人が出席した。鈴木徹司牧師(日本同盟キリスト教団白百合福音教会)が、「子どもたちをありのままに受け止め続け、見守り続け、感動して発見し続けられるよう仕えていきたいと思います」とメッセージを語られた。第2部では、関係者が開設当初の思いやエピソードを語り、佐竹博横浜YMCA総主事は20年間の多くの支えに感謝の言葉を述べ、「これからも社会と地域と子どもたちに必要とされる園として取り組みます」と述べた。初代園長の田口努氏(日本YMCA同盟総主事)をはじめ、歴代園長からも祝福のメッセージが贈られた。礼拝後には「20周年いずみフェスティバル」が行われ、ベトナムやアジア各国の料理、地域の飲食店、雑貨店などの多彩なブースが並んだ。ステージでは、在園児によるダンスやベトナム舞踏、卒園児のダンス



▲記念礼拝を終えて開園当初からの保育士や開設に関わった関係者、歴代園長とともに

などが披露された。600人の参加者が20周年を祝った。

各地でバザーやフェスタを開催

横浜YMCA国際・地域協力募金キャンペーンの一環として11月2日、3日にバザー(かわさき保育園、鎌倉、横浜北、横須賀、湘南とつか・つか乳児保育園・つか保育園、横浜中央)が行われた。このうち3日に開催した横浜中央YMCA「ウエルカムフェスタ」では、専門学生による水餃子やミャンマーの菓子のほか、ウクライナのアクセサリーやタイ・パヤオクラフトの販売、新体操やゴスペルの発表、バザーなどが行われた。地域の企業20社から協賛が寄せられた。当日の運営は、運営委員やワイズメンスクラブ、リーダー、キッズボランティアが担った。



▲多くの人でにぎわった「ウエルカムフェスタ」

キャンパソングを子どもたちと歌うとき、「この歌知らない子」と聞くのではなく「この歌知ってる子」と聞きましよう」と教わりました。知らない人を特定しないのは、知っている人が優越感、知らない人が劣等感を抱かないように、初めてのキャンパが楽しめるようにとの理由は明解で、YMCAのキャンパには随所に思いやりが詰まっていますと感じました。この約40年前に学んだことは総主事になった今でも私の根底に根付いています。

たことがショックでした。まだ「実は佐竹さんは××ですよ」のほうが良かったです。その方にとっては〇〇が普通で、〇〇でないことが特別視に値したとい

だったと思えますし、私の〇〇でないも趣味のものですから社会的な影響はないでしょう。愛の反対は無関心とマザー・テレサは言いました。相手に抱く関心は、この歌を知っているか、〇〇かどうか、ではなく、この歌を知らない、〇〇でなくても、一緒に安心していられるために配慮することなのだと思えます。YMCAは、特に発言や行動に気を付けなければいけません。もちろん私も知らず知らずに、場を盛り上げようとして、人を対比させ自分と違うことを面白おかしくしていかないか。自らを振り返るときとなりま

ひとかき

〇〇でない!

総主事 佐竹 博

FLASH NEWS

横浜YMCAは、光州YMCAと短期研修団を相互に派遣し研修を行っている。10月20日から24日には、遠藤真理氏(常議員)を団長としてスタッフ4人の計5人を派遣した。一行は光州YMCAの理事やスタッフの家にホームステイをし、錦南路本館、西区プラザ、5.18民主化運動記録館などを見学したほか、国立5.18民主墓地を訪問した。今年6月に光州YMCAからの短期研修を横浜YMCAにて行った。両YMCAによる学びと交流を深め地域に必要とされる動きを進める。



共に生きる社会を目指し、横浜YMCAでは「多文化共生を考える講座」(共催 かながわ外国人すまじサポートセンター)を4回のシリーズで開催している。神奈川県内の外国籍住民について学ぼうと11月15日には座学後に、カラバオの会の協力のもと、タイのコミュニティーを訪問し、学びを深めた。3回目となる12月13日(土)には、神奈川県朝鮮中高級学校を訪問し、校内見学や校長先生から朝鮮学校の歴史や現在の様子を学ぶ(要事前申込み)。



ワイズコーナー

幸せの輪を回そう! 横浜つぎワイズメン&ウィメンズクラブ

横浜北YMCAに近い都筑区・青葉区近辺のメンバーからなる奉仕団体です。今年で20周年を迎えました。

毎年恒例の障がい児・者も誰でも参加できるクラシックコンサート「You&Iコンサート」を横浜YMCAのみならずと協力して企画運営するなど、地域社会貢献とその源泉である会員同士の親睦と成長を目的にしています。ワイズメンズクラブはYMCAを支援するとともに、YMCAではカバーできない奉仕活動を展開します。ワイズメンズクラブは社会奉仕に価値を感じる若いメンバーの入会を歓迎します。一緒に幸せの輪を回す活動してみませんか。(横浜つぎワイズメン&ウィメンズクラブ 会長 坂口直樹)

▲多くの人がにぎわった「ウエルカムフェスタ」

横浜中央YMCA Tel 045-662-3721
 横浜北YMCA Tel 045-433-4321
 藤沢YMCA Tel 0466-26-1151
 横須賀YMCA Tel 046-854-5126
 川崎YMCA Tel 044-932-2031
 厚木YMCA Tel 046-244-4181
 鎌倉YMCA Tel 0467-24-7859
 YMCA山手台センター Tel 045-813-1022
 湘南とつかYMCA Tel 045-864-4768
 金沢八景YMCA Tel 045-782-3003
 YMCA東とつかセンター Tel 045-392-3747
 大和YMCAライフサポートセンター Tel 046-264-3192

横浜YMCAワークサポートセンターアンジュ Tel 045-867-0090
 横浜YMCAワークサポートセンターレザン Tel 045-860-5252
 YMCAあつぎ保育園オサナ Tel 046-222-8619
 YMCA山手台保育園アルク Tel 045-813-1022
 YMCAとつか保育園 Tel 045-870-3663

YMCAマナ保育園 Tel 045-790-3588
 YMCAとつか乳児保育園 Tel 045-870-3235
 YMCAつるみ保育園 Tel 045-500-5030
 YMCAかわさき保育園 Tel 044-520-1825
 YMCAいずみ保育園 Tel 045-800-3010

YMCA東とつか保育園 Tel 045-820-5588
 YMCA東かながわ保育園 Tel 045-440-3763
 YMCAたかつ保育園 Tel 044-281-7833
 金沢八景YMCA保育園 Tel 045-353-5130
 YMCAオベリン保育園 Tel 042-707-9974
 大和YMCA保育園 Tel 046-214-3192
 富士山YMCAグローバルエコヴィレッジ Tel 0544-54-1151
 三浦YMCAグローバルエコヴィレッジ Tel 046-888-2100
 鶴見中央YMCA Tel 045-508-7800
 YMCAライフサポートセンター鶴見 Tel 045-506-0131
 本部事務局 Tel 045-662-3721

INFORMATION

横浜YMCA



●感染症等の拡大防止のため、イベントを延期・中止させていただく場合があります。(参加費は税込み)

レクチャー

■イングリッシュセミナー
 日時 12月19日(金)午前10時~12時
 会場 鎌倉YMCA・オンライン(Zoom)
 ゲスト Nurul huda binti Shafiee さん
 参加費 会員1,200円、一般1,500円
 申込み kamakura_info@yokohamaymca.org
 問合せ 鎌倉YMCA Tel 0467-24-7859
 ○マレーシアにおける多様性を学びます。
 ■発達・教育支援 オンライン理解講座
 日時 12月9日(火)午前10時~10時45分
 会場 藤沢YMCAまたはオンライン
 内容 ライフスキルは自然に身につくものでしょうか?
 参加費 無料
 後援 藤沢市教育委員会、藤沢市、横須賀市教育委員会、横須賀市社会福祉協議会
 問合せ 横須賀YMCA Tel 046-854-5126
 申込み QRコードからお申し込みください。

イベント

■第53回 藤沢市民クリスマス
 日時 12月13日(土)

午後12時~キャロリング、午後1時30分~クリスマスの祈り、午後2時30分~愛餐会・人形劇

会場 カトリック藤沢教会
 主催 藤沢市内キリスト教連絡会(事務局 藤沢YMCA)

テーマ 「平和を愛をすべての人へ」
 司式 松田浩司(藤沢聖マルコ教会)
 説教 梁熙梅(鶴沼めぐみルーテル教会)
 問合せ 藤沢YMCA Tel 0466-26-1151

■第35回 横須賀ファミリークリスマス

日時 12月13日(土)
 開演 午後1時(開場 午後12時30分)
 会場 横須賀学院 大チャペル
 主催 横須賀ファミリークリスマス実行委員会(事務局 横須賀YMCA)

テーマ この日光が人びとに
 問合せ 横須賀YMCA Tel 046-854-5126

■English Camp for Global Leadership

日程 2025年12月26日(金)~28日(日)
 会場 国際青少年センターYMCA東山荘 ※現地集合解散となります
 対象 中学2年~高校3年生(英検3級以上が目安です。ご相談ください)
 内容 英語の楽しさを知り、グローバルな課題に目を向け、行動できる地球市民の育成をめざすプログラムです。
 参加費 61,600円
 問合せ 湘南とつかYMCA 英語学校 Tel 045-864-4768

キリスト教理解

■とつか聖書を学ぶ会
 日時 12月11日(木)午前10時30分~
 会場 湘南とつかYMCA 4階教室
 テーマ 聖書を楽しむ学ぼう
 講師 堀野浩嗣氏(横浜戸塚バプテスト教会牧師)
 参加費 無料
 問合せ 湘南とつかYMCA Tel 045-864-4768
 ymsports@yokohamaymca.org

子育て支援

■横浜子育てサポートシステム入会説明会
 日時 12月11日(木)午前10時~11時、23日(火)午後1時30分~2時30分
 会場 中区地域子育て支援拠点のんびりんこ
 対象 横浜子育てサポートシステムに入会を考えている方
 申込み QRコードから事前にお申し込みください。
 問合せ 横浜子育てサポートシステム中区支部事務局 Tel 045-663-06760

■プレママ・プレパパDay

日時 12月23日(火)午前10時~11時
 会場 金沢区地域子育て支援拠点とことこ
 対象 第1子妊娠中の方
 内容 先輩ママ・パパとおしゃべりタイム
 問合せ 金沢区地域子育て支援拠点とことこ

学校説明会

■YMCA健康福祉専門学校
 日程 12月20日(土) 午前10時~午後2時~
 内容 入試説明・学校見学
 申込み QRコードからお申し込みください。
 問合せ Tel 046-223-1441

■横浜YMCAスポーツ専門学校

日程 12月6日(土)・20日(土)午前10時30分~12時/午後2時~3時30分
 申込み QRコードからお申し込みください。
 問合せ Tel 045-864-4990

■横浜YMCA学院専門学校 国際情報ビジネス科

【オープンキャンパス・学校説明会】
 日時 12月6日(土)午前9時30分~
 【オンライン説明会】
 日時 12月4日(木)・18日(木) 午前10時~12時
 12月9日(火)・23日(火) 午後2時~4時
 申込み QRコードからお申し込みください。
 問合せ Tel 045-661-0080
 ○各校の入学試験はHPをご確認ください。

ウクライナの家庭料理「デルニー」作るみどりクラブ

11月6日に開催したみどりクラブでは、ウクライナの家庭料理「デルニー」を作りました。デルニーはすりおろしたジャガイモを焼いたお焼きのようなもので、今回はサワークリームに日本風のアレンジとして青のりを添えていただきました。郷土料理を味わいながら、ウクライナ語での会話も弾み、笑顔あふれるひとときとなりました。この日の体操は、椅子に座ったままできるストレッチを行い、心も体もリフレッシュできる楽しい時を過ごしました。



町とつながるECOアクション YMCAたかつ保育園が地域と協働

YMCAたかつ保育園の子どもたちが10月8日と17日に、「みそのくちから発信~東急電鉄が取り組むSDGsと町とつながるECOアクション」をテーマにポスターづくりを行いました。東急溝の口駅の職員が制服姿で来園し、子どもたちと一緒に不要なチラシなどをちぎるなどしてポスターを作成しました。完成したポスターは東急溝の口駅構内に11月に掲示され、駅を利用する多くの方の目に触れ、環境へのアクションの一つになりました。



140years of HISTORY

横浜YMCAは2024年10月に140周年を迎えました。140年のあゆみを写真で紹介します。



私の所属する会社がYMCA賛助会の会長会社であることもあり、20数年前から「インターナショナル・チャリティーラン」「児童養護施設交流イベント」などYMCA賛助会の活動に多くの若手社員が参加させていただいており、当時、私もその一人として参加しました。YMCAでの活動を通じて、参加した社員がボランティアの実体験をし、その難しさややりがい、達成感のようなものを肌で感じるという貴重な経験をさせていただいたと思っています。

こうした中、私自身として3年前にYMCAの賛助会幹事会メンバーになり、昨年から賛助会幹事会の議長を務めております。本年度も賛助会の活動として、「就職のための模擬面接講座」「チャリティーランのための異業種交流会」「インターナショナル・チャリティーラン」「聖母愛児園ふれあいイベント」を実施しました。12月には「お金の教室」を開催する予定です。

私自身、YMCA賛助会での活動は、会社の業務・役割の一環として関わっていますが、実際のところ、業務とは別の楽しみややりがいを感じる機会があります。

YMCAが関わる青少年の皆さんにも、「相手の個性と多様性を認め、受け入れること」「他者に生かされていることに感謝すること」が自己の成長、ひいては豊かな社会の創造につながる、ということを伝えていただけることを期待しています。

YMCAの活動を通じて、参加した社員がボランティアの実体験をし、その難しさややりがい、達成感のようなものを肌で感じるという貴重な経験をさせていただいたと思っています。

こうした中、私自身として3年前にYMCAの賛助会幹事会メンバーになり、昨年から賛助会幹事会の議長を務めております。本年度も賛助会の活動として、「就職のための模擬面接講座」「チャリティーランのための異業種交流会」「インターナショナル・チャリティーラン」「聖母愛児園ふれあいイベント」を実施しました。12月には「お金の教室」を開催する予定です。

私自身、YMCA賛助会での活動は、会社の業務・役割の一環として関わっていますが、実際のところ、業務とは別の楽しみややりがいを感じる機会があります。

YMCAが関わる青少年の皆さんにも、「相手の個性と多様性を認め、受け入れること」「他者に生かされていることに感謝すること」が自己の成長、ひいては豊かな社会の創造につながる、ということを伝えていただけることを期待しています。

My Y Story

191 人生における気づきをもたらした YMCAのボランティア活動

横浜YMCA賛助会幹事会議長 関田 充央



▲ランナーとしてチャリティーランに参加、チームの皆さんと(後列左から2人目/2025年10月)